

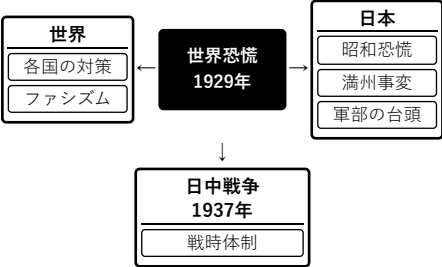
1 全体像	2・3 世界恐慌	4・5 ファシズム	6・7 昭和恐慌	8・9 満州事変	10・11 日中戦争	12 まとめ
-------	----------	-----------	----------	----------	------------	--------

1 この単元の全体像 ― 日本は、なぜ中国との戦争に向かった？

このページのゴール
 世界恐慌から日中戦争までの流れと、この単元で学ぶ5つのことを、ざっとと言える

①では、第一次世界大戦の後に国際協調が進み、日本でも政党内閣の時代が来たことを学びました。1929年、アメリカから始まった大不景気が世界に広がり、各国は自分の国を守ることを優先するようになりました。日本でも不景気から政党への不信が高まり、軍部（ぐんぶ。陸軍や海軍の指導者たち）が力を強めて、中国への侵略（しんりゃく）を進めました。この単元では、1927年から1940年までを学びます。

1927年	1929年	1930年	1931年	1932年
金融（きんゆう）恐慌（6）	世界恐慌が始まる（2）	ロンドン海軍軍縮条約・昭和恐慌（6・7）	満州事変（8）	満州国・五・一五事件（8・9）
1933年	1936年	1937年	1938年	1940年
ナチスが政権をにぎる・日本が国際連盟の脱退（だったい）を通告（5・8）	二・二六事件（9）	日中戦争が始まる（10）	国家総動員法（こっかそうどういんほう）（11）	大政翼賛会（たいせいよくさんかい）（11）



① 世界恐慌と各国の対策
 かわしくは2・3ページ

不景気が世界に広がり、各国がとった対策を学びます。

② ファシズムの台頭
 かわしくは4・5ページ

イタリアとドイツで独裁の政治が広がったわけを学びます。

③ 昭和恐慌と政党政治
 かわしくは6・7ページ

日本の不景気と、政党への不信を学びます。

④ 満州事変と軍部の台頭
 かわしくは8・9ページ

日本が満州に進み、軍部が力を強めたことを学びます。

⑤ 日中戦争と戦時体制
 かわしくは10・11ページ

中国との戦争と、国民のくらしの変化を学びます。

この単元の問い
 日本は、なぜ中国との戦争に向かった？（答えは12ページ）

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad3%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e4%b8%96%e7%95%8c%e6%81%90%e6%85%8c%e3%81%a8%e7%ac%ac%e)
<https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad3%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e4%b8%96%e7%95%8c%e6%81%90%e6%85%8c%e3%81%a8%e7%ac%ac%e>

2 アメリカで始まった不景気が、なぜ世界に広がった？

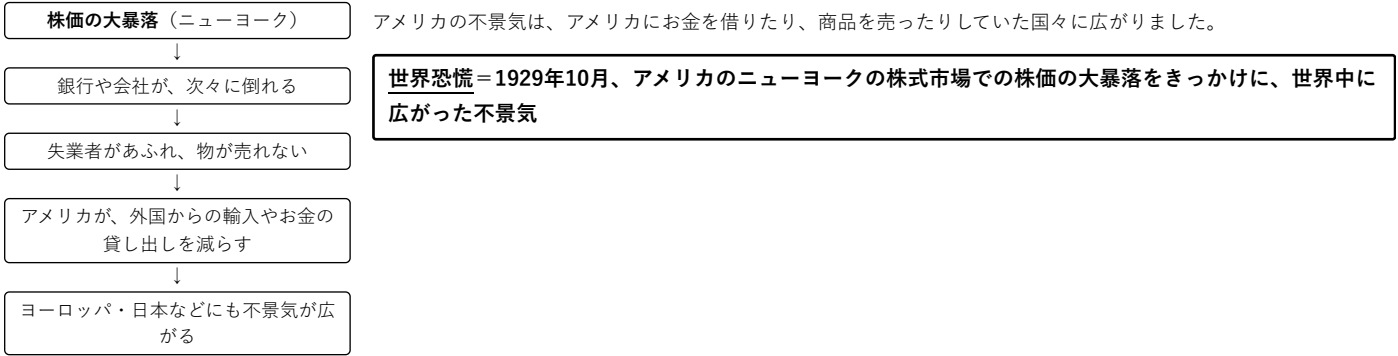
このページのゴール 1929年に何が起きたか、恐慌とは何か、世界恐慌が世界に広がったわけを言える

① 1929年10月、アメリカで何が起きた？

①で学んだように、第一次世界大戦の後、アメリカは世界一の経済の国になり、ヨーロッパの国々にお金を貸したり、商品を売ったりしていました。ところが1929年10月、アメリカのニューヨークの株式市場（かぶしきしじょう）で、会社の株の値段（株価）が一気に大きく下がりました。これを株価の大暴落（ぼうらく）といいます。

恐慌（きょうこう）＝経済が急に大きく混乱し、会社の倒産や失業者（しつぎょうしゃ）が急に増えること

② 不景気は、どのように広がった？



③ 株価が下がると、なぜ会社が倒れるの？

株は、会社にお金を出した人がもつ証明書のような物です。株価が大きく下がると、株をもっていた人や、そのお金を貸していた銀行が大きな損をします。損をした銀行は、会社にお金を貸せなくなります。お金が足りなくなった会社は、仕事を続けられずに倒れます。会社が倒れると仕事を失う人が増え、人々は物を買わなくなるので、さらに会社が倒れていきます。

注意 × 世界恐慌は、ヨーロッパの国どうしの戦争がきっかけで始まった → ○ 1929年、アメリカのニューヨークで株価が大暴落したことから始まった

合言葉 「1929、ニューヨークから世界へ」

→ まとめ：1929年に世界恐慌が起こり、世界中が不景気になった

3 世界恐慌に、国々はどう立ち向かった？

このページのゴール アメリカのニューディール、イギリス・フランスのブロック経済、ソ連の五か年計画をくらべて言え、国際協調がとだえたわけを言える

① アメリカ：ニューディール

ニューディール（新規まき直し）＝1933年からローズベルト大統領が進めた政策。公共事業（こうきょうじぎょう）をおこして失業者に仕事をあたえ、農業や工業の生産を調整し、労働組合を保護した

- ① Hさんの町（架空の例）：町が、国のお金でダムを造る仕事（公共事業）をおこす
- ② 仕事を失っていたHさんが、ダムの工事で働いて給料を得る
- ③ Hさんが給料で買い物をするので、店や工場の仕事も増える
- ④ 町で働く人が増え、失業者が減る

資料の読み方：グラフを読んで理由を書く時は、数が上がった時期と下がった時期のそれぞれについて、そのころ起きたできごとや始まった対策を探し、結びつけて説明します。

② イギリス・フランス：ブロック経済

ブロック経済＝本国と植民地の間の貿易を強め、ほかの国の商品には高い関税（かんぜい）をかけて締め出す政策

ほかの国の商品 →

高い関税

本国 ⇄ 植民地
貿易を強める

③ ソ連：五か年計画

五か年計画＝スターリンの指導で1928年から進めた、国が計画を立てて重工業をおこし、農業を集団化する計画経済

ソ連は、世界恐慌の影響をほとんど受けず、国力をのばしました。一方、スターリンは反対する人々をきびしくおさえる独裁（どくさい。4ページ）を行いました。

国	指導者	対策
アメリカ	ローズベルト	ニューディール（公共事業・生産の調整・労働組合の保護）
イギリス・フランス	ー	ブロック経済（本国と植民地の貿易・高い関税）
ソ連	スターリン	五か年計画（計画経済）

植民地の少ないドイツ・イタリア・日本は、ブロック経済で商品売る先がせまくなり、新しい領土を求めるようになりました。

注意 × 世界恐慌の後、国々は協力して貿易を広げ、不景気をのりこえた → ○ 各国は自分の国の利益を優先し、国際協調の流れがとだえた

合言葉 「アメリカは公共事業、英仏はブロック、ソ連は計画」

→ まとめ：世界恐慌で、各国は自分の国の利益を優先するようになった

4 ファシズムとは、どんな政治？

このページのゴール ファシズムの意味、民主主義とのちがいを、ムッソリーニのイタリアで何が行われたかを言える

① なぜ、強い指導者を求める国が出てきた？

3ページで見たように、植民地の少ないドイツ・イタリア・日本は、ブロック経済で商品を買う先がせまくなりました。第一次世界大戦（①）の後の不況や政治の混乱に加えて、世界恐慌で生活が苦しくなると、人々の不満が高まりました。そして「強い指導者に国をまとめてほしい」と考える人が増えた国がありました。

ファシズム＝民主主義や自由主義を否定し、一つの政党や指導者が、言論や思想の自由をうばって国民を強くまとめ、国の力を強めようとする独裁的な政治（全体主義（ぜんたいしゅぎ））

独裁（どくさい）とは、一人の指導者や一つの政党が、ほかの意見を聞かずに、政治の力をにぎることです。

② 民主主義とファシズムは、どちらがう？

	民主主義	ファシズム
政党	いくつもの政党が、たがいに競い合う	一つの政党や指導者に力が集まり、ほかの政党は禁止される
言論や思想の自由	認められている	うばわれる
個人と国	一人ひとりの自由や権利を大切にす	国民を強くまとめ、国の力を強めることを優先する

「ファシズム」という名前は、次に学ぶイタリアのファシスト党の名前に由来します。

③ イタリア：ムッソリーニのファシスト党

イタリアでは、**ムッソリーニ**がひきいる**ファシスト党**が、1922年に政権をにぎり、独裁を行いました。ムッソリーニは、世界恐慌の後の1935年にエチオピアを侵略し、翌年に併合（へいごう）しました。

注意 × ファシズムの国では、国民が選挙で自由にいろいろな政党を選べた → ○ ほかの政党は禁止され、言論や思想の自由もうばわれた

合言葉 「自由をうばって、国を強く」

→ まとめ：植民地の少ない国では、国民の不満が高まり、ファシズムが広がった

1 全体像	2・3 世界恐慌	4・5 ファシズム	6・7 昭和恐慌	8・9 満州事変	10・11 日中戦争	12 まとめ
-------	----------	-----------	----------	----------	------------	--------

5 ドイツの人々は、なぜヒトラーを支持した？

このページのゴール ナチスが支持を集めたわけと、政権をにぎった後に行ったことを言え、イタリアとドイツをくらべられる

4ページのイタリアについて、ドイツで何が起こったかを見ます。

① ナチスが支持を集めた流れ

- ① ベルサイユ条約（①）で、ドイツは多額の賠償金（ばいしょうきん）を支払うことになった
- ② 世界恐慌で、ドイツでも失業者が増えた
- ③ 国民の不満が高まった
- ④ ヒトラーのひきいるナチスが、国民の支持を集めた
- ⑤ 1933年、ナチスが政権をにぎった

ナチス＝ヒトラーがひきいる国民社会主義ドイツ労働者党。1933年に政権をにぎって独裁を行い、ユダヤ人を迫害（はくがい）した

② 政権をにぎった後に、ナチスがしたこと

政治	ほかの政党を禁止し、言論の自由をうばった
人々	共産主義者を弾圧（だんあつ）し、ユダヤ人を迫害した
経済	公共事業と軍需産業で、失業者を減らした
外交	1933年に国際連盟を脱退し、ベルサイユ条約を破棄（はき）して軍備を拡張した

③ イタリアとドイツをくらべる

	イタリア	ドイツ
指導者	ムッソリーニ	ヒトラー
政党	ファシスト党	ナチス
政権をにぎった年	1922年	1933年
行ったこと	独裁。1935年にエチオピアを侵略	独裁。ユダヤ人の迫害。軍備の拡張

注意 ×ナチスは、武力で議会をたおして政権をにぎった → ○世界恐慌の後の選挙で国民の支持を集め、政権をにぎってから独裁を行った

合言葉 「不満を集めて、ヒトラーの独裁」

→ まとめ：ドイツやイタリアは新しい領土を求め、国際協調はさらにくずれた

6 世界恐慌は、日本の人々のくらしをどう変えた？

このページのゴール 金融恐慌と昭和恐慌のちがいを、生糸と米の値段が下がって農村が苦しくなったわけ、都市のようすを言える

① 世界恐慌の前から、日本は不景気だった

①で学んだように、日本は大戦景気の後に不景気が続き、1923年の関東大震災でさらに打撃を受けました。

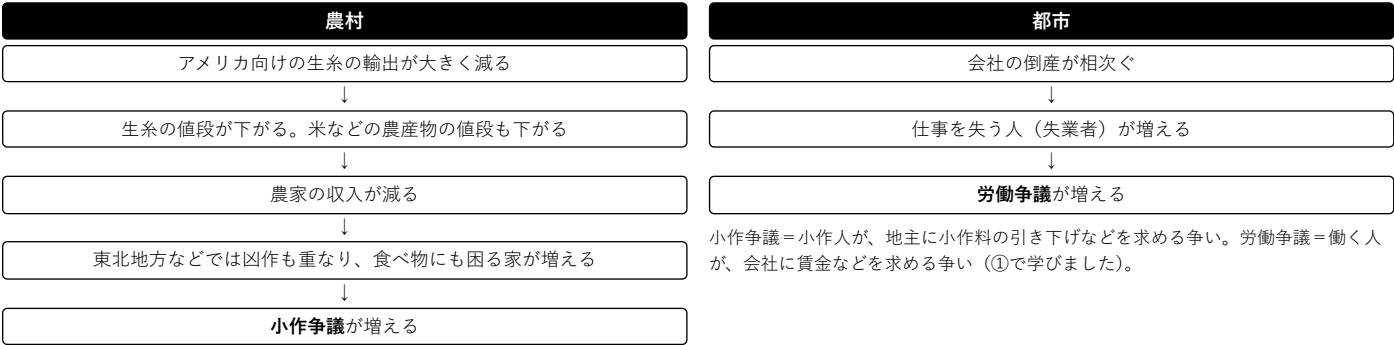
金融恐慌（きんゆうきょうこう）＝1927年、銀行の経営が不安になり、預金（よきん）を引き出そうとする人がおしかけ、休業や倒産をする銀行が相次いだ混乱

中小の銀行がつぶれ、財閥（ざいばつ）の大銀行に預金が集まりました。

② 世界恐慌が日本にも及んだ

昭和恐慌＝1930年、世界恐慌が日本にも及んで起こった、深刻な不景気

生糸（きいと）は、蚕（かいこ）のまゆからつくる絹の糸で、当時の日本の最大の輸出品でした（製糸業は中2で学びました）。その多くがアメリカ向けだったので、アメリカが不景気になると売れなくなったのです。



小作争議＝小作人が、地主に小作料の引き下げなどを求める争い。労働争議＝働く人が、会社に賃金などを求める争い（①で学びました）。

注意 × 昭和恐慌では、米の値段が上がりすぎて、米騒動が起こった → ○ 米騒動は1918年（①）。昭和恐慌では、生糸や米などの値段が下がり、農家の生活が苦しくなった

合言葉 「生糸も米も安くなり、村が苦しむ」

→ まとめ：昭和恐慌でくらしが苦しくなり、国民は政党に不満をもつようになった

1 全体像	2・3 世界恐慌	4・5 ファシズム	6・7 昭和恐慌	8・9 満州事変	10・11 日中戦争	12 まとめ
-------	----------	-----------	----------	----------	------------	--------

7 国民は、なぜ政党を信じなくなった？

このページのゴール 政党が国民の信頼を失ったわけ、ロンドン海軍軍縮条約と統帥権の批判、中国の国民政府の統一が日本の軍部をあせらせたわけを言える

① 政党は、なぜ信じられなくなった？

6ページの不景気が続いても、政党は有効な手を打てませんでした。①で学んだ政党内閣の時代（1924～1932年）でしたが、政党は財閥と結びつき、汚職（おしょく）の事件も起きていたのです。国民の不信が高まりました。汚職とは、政治家や役人が、地位を使ってお金をもらうなどの不正をはたらくことです。

② ロンドン海軍軍縮条約と統帥権

- ① 1930年、浜口雄幸（はまぐちおさち）内閣（立憲民政党）が、軍艦の保有量を制限するロンドン海軍軍縮条約に調印した
- ② 軍部や国家主義の人々が、「軍隊を指揮する天皇の権限を、政府が勝手に決めて犯した」と批判した
- ③ 浜口首相が、東京駅でおそわれて重いけがをした

統帥権（とうすいけん）＝軍隊を指揮する、天皇がもつ権限

浜口首相は、翌年に辞めました。軍縮（ぐんしゅく）は、①で学んだワシントン会議でも進められたことです。このロンドン海軍軍縮条約では、主力艦より小さい補助艦（巡洋艦や駆逐艦など）の保有量が制限されました。

③ 中国の統一が進んでいた

中国国民党と国民政府

蒋介石（しょうかいせき）の中国国民党は、1927年に南京に**国民政府**をつくり、国内の統一を進めました。そして、日本などが持つ権益（けんえき）を取りもどそうとしました。

日本は、第一次世界大戦中の1915年に中国へ二十一か条の要求を出すなど（①）、満州の権益を強めてきました。中2で学んだ南満州鉄道などの満州の権益が危うくなると考えた軍部は、危機感を強めました。

注意 × ロンドン海軍軍縮条約は、日本の軍備を大きく広げるための条約だった → ○ 海軍の補助艦の量を制限する軍縮の条約で、軍部の一部が強く反対した

合言葉 「軍縮に反対、統帥権」

→ まとめ：政党への不信が高まり、軍部は中国情勢への危機感を強めた

1 全体像	2・3 世界恐慌	4・5 ファシズム	6・7 昭和恐慌	8・9 満州事変	10・11 日中戦争	12 まとめ
-------	----------	-----------	----------	----------	------------	--------

8 日本は、なぜ満州で軍事行動を起こした？

このページのゴール 満州が日本にとってどんな地域だったか、柳条湖事件から満州国までの流れ、国際連盟の勧告と日本の脱退を言える

① 満州は、日本にとってどんな地域だった？

満州（中国の東北部）は、日露戦争の後に日本が南満州鉄道などの権益を得た地域（中2）です。石炭や鉄などの資源が豊かで、「日本の生命線」と主張する人々もいました。日本の陸軍の**関東軍**（かんとうぐん）が置かれ、不景気の中、軍部は、満州の資源を手に入れば不景気をのりこえられると考えました。地図のように、柳条湖は朝鮮半島の北西、北京より北東にあります。

② 満州事変から満州国へ

- 1931年9月、関東軍が、奉天（ほうてん・今の瀋陽）の近くの**柳条湖**（りゅうじょうこ）で、南満州鉄道の線路を爆破した
- 中国軍のしわざとして軍事行動を始め、満州の大部分を占領した
- 1932年、清の最後の皇帝だった溥儀（ふぎ）を**元首**（げんしゅ）として、満州国をつくった

満州事変＝1931年9月の柳条湖での線路の爆破をきっかけに、日本軍が満州の大部分を占領した軍事行動

満州国＝1932年に日本が満州につくった国。実際の政治は日本の軍部がにぎった



③ 国際連盟の勧告と脱退

- 中国が、日本の行動を国際連盟に訴えた
- 国際連盟が、**リットン調査団**を送った
- 1933年、報告をもとに、満州国を認めず、日本軍の占領地からの引きあげを求める**勧告**（かんこく）を採択した
- 日本は、国際連盟からの脱退を通告し、国際的に孤立（こりつ）していった（同じ1933年にドイツも脱退）

注意 × 国際連盟は、リットン調査団の報告をもとに、満州国の独立を認めた → ○ 満州国を認めず、日本軍の引きあげを求める勧告をした

合言葉 「柳条湖から満州国、そして連盟脱退」

→ まとめ：日本は満州を占領し、国際連盟を脱退して孤立した

1 全体像	2・3 世界恐慌	4・5 ファシズム	6・7 昭和恐慌	8・9 満州事変	10・11 日中戦争	12 まとめ
-------	----------	-----------	----------	----------	------------	--------

9 軍部は、どのように政治の力をにぎった？

このページのゴール 五・一五事件と二・二六事件のちがい、政党内閣の時代が終わったこと、軍部が力を強めた後の経済を言える

8ページのように満州で軍事行動が進むなか、日本の国内でも、軍部が政治の力を強めていきました。

① 2つの事件

五・一五事件=1932年5月15日、海軍の青年将校（せいねんしょうこう）らが首相官邸をおそい、犬養毅（いぬかいつよし）首相を暗殺（あんさつ）した事件。政党内閣の時代が終わった

二・二六事件=1936年2月26日、陸軍の青年将校らが兵をひきいて大臣などを殺傷し、東京の中心部を数日間占拠（せんきょ）した事件。しずめられたが、軍部は政治への発言力をいっそう強めた

② 2つの事件をくらべる

	五・一五事件	二・二六事件
年	1932年	1936年
だれが	海軍の青年将校ら	陸軍の青年将校ら
何をした	首相官邸をおそい、犬養毅首相を暗殺した	兵をひきいて大臣などを殺傷し、東京の中心部を占拠した
その後	政党の党首が首相になる政党内閣の時代が終わり、軍人などが首相になる内閣が続いた	軍部は、政治への発言力をいっそう強めた

③ 政党内閣の時代の終わり

年	できごと	年	できごと
1881年	自由党がつくられる（中2）	1930年	ロンドン海軍軍縮条約
1912～13年	護憲運動（①）	1931年	満州事変
1918年	原敬の政党内閣（①）	1932年	政党内閣の時代が終わる（五・一五事件）
1924年	政党内閣の時代が始まる（①）	1936年	二・二六事件

経済では、軍需産業と重化学工業がのび、日本はほかの国より早く不景気からぬけ出しました。

注意 ×二・二六事件の後、政党内閣が復活し、軍部の力は弱まった → ○軍部は政治への発言力をいっそう強めた

合言葉 「5・15で政党内閣が終わり、2・26で軍部が強まる」

→ まとめ：二つの事件で政党内閣が終わり、軍部の力が強まった

10 日中戦争は、どのように始まり、なぜ長引いた？

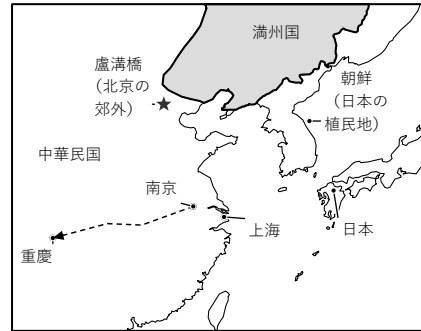
このページのゴール 抗日民族統一戦線、盧溝橋事件から日中戦争が始まったこと、南京の占領、戦争が長引いたわけを言える

① 中国でも、日本への対応が変わった

中国では、蒋介石の国民党と、毛沢東（もうたくとう）の共産党が内戦をしていました。しかし日本の侵略に対して内戦をやめ、1937年に協力して日本と戦う体制をつくりました。

抗日民族統一戦線（こうにちみんぞくとういつせんせん）＝国民党と共産党が内戦をやめ、協力して日本と戦う体制

② 盧溝橋事件から日中戦争へ



満州国 ---> 国民政府が移った道
地図：Natural Earth

- ① 1937年7月、北京の郊外の**盧溝橋**（ろこうきょう）で、日本軍と中国軍が衝突した（盧溝橋事件）
- ② **日中戦争**が始まり、戦争は中国の中部・南部に広がった
- ③ 12月、日本軍は首都の**南京**を占領した
- ④ 国民政府は、首都を内陸の**重慶**（じゅうけい）に移して抵抗を続けた
- ⑤ アメリカやイギリスなどが、中国を援助した
- ⑥ 戦争は長引いた

南京を占領した日本軍は、その中で、捕虜や女性・子どもをふくむ多くの中国人を殺害しました（**南京事件**）。

日中戦争＝1937年、盧溝橋事件をきっかけに始まった、日本と中国の戦争

注意 × 日本軍が南京を占領すると、中国の国民政府は降伏し、日中戦争は終わった → ○ 国民政府は重慶に移って抵抗を続け、戦争は長引いた

合言葉 「盧溝橋から日中戦争、重慶で抵抗」

→ まとめ：日本は大陸への進出を強め、中国との戦争が長引いた

11 戦争が長引くと、国民のくらしはどう変わった？

このページのゴール 国家総動員法、大政翼賛会、隣組、配給制、植民地の皇民化政策を、だれに何をさせたかと言える

戦争が長引くと、政府は、国民の生活を戦争のために統制（とうせい）していきました。

① 政治の統制

国家総動員法 = 1938年、政府が議会の承認なしに、戦争に必要な労働力や物資を動員できるようにした法律

大政翼賛会 = 1940年、ほとんどの政党や政治団体が解散して、一つにまとめられた組織

② 国民のくらしの統制

組織	隣組（となりぐみ）＝町や村につくられた、10軒ほどの家の組。配給や防空訓練を行い、たがいを見張る役目もした
生活	配給制（はいきゅうせい）＝米・砂糖・マッチ・衣料などの生活必需品を、決められた量だけ、切符や通帳と引きかえに配る。「ぜいたくは敵だ」の標語が使われた



衣料を買うための切符
（1944年）
写真：Asanagi (CC0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

③ 植民地での政策

皇民化政策（こうみんかせいさく）＝朝鮮や台湾で、日本語の使用や神社への参拝を強制するなどして進めた政策。朝鮮では、名前を日本式に改めさせる創氏改名も行われた

できごとを古い順に並べる時は、一つずつ「明治・大正・昭和のどの時代で、何年ごろか」を思い出し、分かる物から並べます。政党のできごとは、9ページの年表で確かめられます。

注意 × 国家総動員法で、国会が戦争に必要な物資を一つずつ決めるようになった → ○ 政府が議会の承認なしに、労働力や物資を動員できるようになった

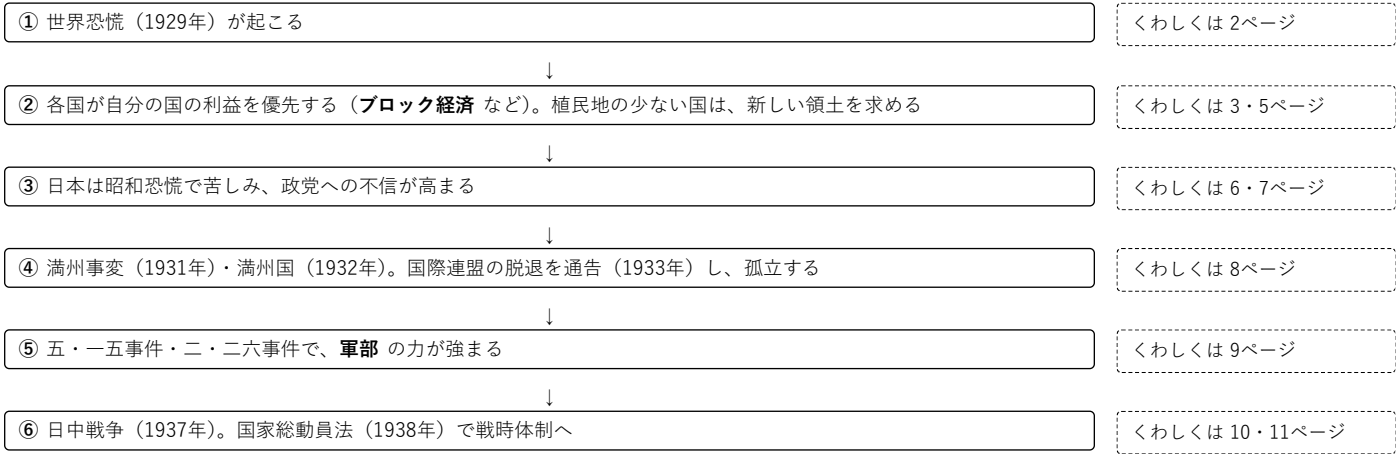
合言葉 「総動員で、くらしも戦争へ」

→ まとめ：国家総動員法などで、国民の生活も戦争のために統制された

12 日本は、なぜ中国との戦争に向かった？

このページのゴール 2～11ページを、ステップチャートと年表でつないで、1ページの問いに答えられる

① ステップチャート



② 年表

年	できごと	年	できごと
1927年	金融恐慌	1933年	ナチスが政権をにぎる・日本が国際連盟の脱退を通告
1929年	世界恐慌が始まる	1936年	二・二六事件
1930年	ロンドン海軍軍縮条約・昭和恐慌	1937年	日中戦争が始まる
1931年	満州事変	1938年	国家総動員法
1932年	満州国・五・一五事件	1940年	大政翼賛会

③ 問いの答えの例

世界恐慌の後、各国は自分の国の利益を優先して国際協調がとだえ、ドイツやイタリアではファシズムが広がりました。日本では昭和恐慌で国民の生活が苦しくなり、政党への不信が高まりました。その中で軍部は、資源の豊かな満州を手に入れば不景気をのりこえられると考えて満州事変を起こし、政党内閣を終わらせて政治の力をにぎりました。日本は国際連盟を脱退して孤立し、中国との全面的な戦争に進みました。

確認問題① 世界恐慌・ドイツとイタリア

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 世界恐慌と各国の対策について答えなさい。【2・3ページ】

- (1) 世界恐慌が始まった場所を選びなさい。
ア イギリスのロンドン イ アメリカのニューヨーク
ウ ドイツのベルリン エ フランスのパリ _____
- (2) 1920年代の終わりから社会主義の国を指導し、反対する人々をきびしくおさえて独裁を行った人物はだれですか。 _____
- (3) ニューディールを進めたアメリカの大統領を選びなさい。
ア ウィルソン イ リンカン ウ ローゼンベルグ エ ワシントン _____
- (4) ブロック経済の説明として正しいものを選びなさい。
ア 政府が公共事業をおこして、失業者に仕事をあたえた
イ 国際連盟の決定にしたがって、軍備を縮小した
ウ 植民地を手放して、どの国とも自由に貿易した
エ 本国と植民地の間の貿易を強め、ほかの国の商品には高い関税をかけた _____
- (5) 社会主義の国で、1928年から、国が立てた計画にもとづいて重工業をおこし、農業を集団化した政策を何といいますか。 _____
- (6) 世界恐慌の影響をほとんど受けなかった国を選びなさい。
ア ソ連 イ アメリカ ウ イギリス エ ドイツ _____
- (7) ドイツ・イタリア・日本が、ブロック経済に不満をもったのはなぜですか。「商品」「植民地」の2つの語を使って書きなさい。

2 ドイツとイタリアの独裁について答えなさい。【3・4・5ページ】

- (1) 民主主義や自由主義を否定し、一つの政党や指導者が、言論の自由をうばって国民を強くまとめ、国の力を強めようとする独裁的な政治を何といいますか。

- (2) イタリアで1922年に政権をにぎり、独裁を行った人物を選びなさい。
ア ヒトラー イ ローゼンベルグ ウ ムッソリーニ エ 蒋介石 _____
- (3) ナチスが政権をにぎった後のドイツで行われたこととして、正しくないものを選びなさい。
ア ほかの政党の活動を広く認め、言論の自由を守った
イ ユダヤ人を迫害した
ウ ベルサイユ条約を破棄して軍備を拡張した
エ 共産主義者をきびしく取りしまった _____
- (4) ヒトラーとナチスが国民の支持を集めたわけとして正しいものを選びなさい。
ア ドイツが第一次世界大戦に勝って、国民が豊かになったから
イ 国際連盟が経済を助けて、失業者がいなくなったから
ウ 多くの植民地との貿易がさかんで、景気がよくなったから
エ 世界恐慌で失業者が増え、ベルサイユ条約への不満が強かったから _____
- (5) イタリアが1935年に侵略した国を選びなさい。
ア エジプト イ エチオピア ウ インド エ ブラジル _____
- (6) 世界恐慌の後、国際協調の流れがとだえたのはなぜですか。「自分の国」「優先」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題② 昭和恐慌・満州事変

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

3 昭和恐慌と政党政治について答えなさい。【6・7ページ】

- (1) 1927年、銀行に預金を引き出そうとする人がおしかけ、休業や倒産をする銀行が相次いだ混乱を何といいますか。 _____
- (2) 昭和恐慌のころの農村のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 米の値段が大きく上がり、農家の収入が増えて、生活が豊かになった
イ 大戦景気で、成金とよばれる農家が増えた
ウ 生糸の輸出が減り、生糸や米の値段が下がって、生活が苦しくなった
エ 機械化が進んで、農業で働く人が大きく減り、都市に移った _____
- (3) 昭和恐慌のころの都市のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 成金が増え、ぜいたくな生活が広がった
イ 鉄道や工場が次々に建てられ、働く人が足りなくなった
ウ 物価が大きく上がり、米の安売りを求める騒動が全国に広がった
エ 会社の倒産が相次いで失業者が増え、労働争議も増えた _____
- (4) 1930年にロンドン海軍軍縮条約を結んだ内閣の首相を選びなさい。
ア 原敬 イ 浜口雄幸 ウ 犬養毅 エ 加藤高明 _____
- (5) 軍隊を指揮する、天皇がもつ権限を何といいますか。ロンドン海軍軍縮条約に反対した人々は、政府がこれを犯したと批判しました。 _____
- (6) 1927年、蒋介石が南京につくり、中国の統一を進めた政府を何といいますか。 _____
- (7) 昭和恐慌のころ、国民が政党を信じなくなったのはなぜですか。「財閥」「不景気」の2つの語を使って書きなさい。

4 満州事変と軍部の台頭について答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 満州に置かれていた日本の陸軍を何といいますか。 _____
- (2) 1931年、満州で日本軍が線路を爆破した鉄道を選びなさい。
ア シベリア鉄道 イ 東海道線 ウ 新橋・横浜間の鉄道 エ 南満州鉄道 _____
- (3) 満州国の元首になった人物を選びなさい。
ア 溥儀 イ 孫文 ウ 蒋介石 エ 毛沢東 _____
- (4) 満州国の説明として正しいものを選びなさい。
ア 中国人の手でつくられ、蒋介石が元首になった
イ 第一次世界大戦の後、民族自決の考えで独立した
ウ 1932年につくられたが、実際の政治は日本の軍部がにぎった
エ 日本の植民地として、朝鮮総督府が治めた _____
- (5) 1932年、海軍の青年将校らが首相官邸をおそい、犬養毅首相を暗殺した事件を何といいますか。 _____
- (6) 二・二六事件の後の日本の政治として正しいものを選びなさい。
ア 普通選挙法が成立した イ 軍部が政治への発言力をいっそう強めた
ウ 女性の選挙権が認められた エ 軍備を縮小する条約を結んだ _____
- (7) 1932年に首相が暗殺された事件の後、日本の政治はどう変わりましたか。「政党」「軍人」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題③ 日中戦争・年表

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

5 日中戦争と戦時体制について答えなさい。【10・11ページ】

- (1) 1937年、内戦をしていた中国国民党と中国共産党が、協力して日本と戦うためにつくった体制を何といいますか。 _____
- (2) 中国共産党を指導した人物を選びなさい。
ア 蒋介石 イ 孫文 ウ 溥儀 エ 毛沢東 _____
- (3) 日中戦争が長引いたわけとして正しいものを選びなさい。
ア 国民政府が重慶に移って抵抗を続け、アメリカやイギリスなどが中国を援助したから
イ 日本が戦争の初めの年に、中国の全部の地域を占領したから
ウ ソ連が日本と手を結び、軍隊を送って日本とともに戦ったから
エ 国際連盟が日本の行動を認め、軍隊を送って日本を助けたから _____
- (4) 国家総動員法の中身として正しいものを選びなさい。
ア 満25歳以上の男子に、衆議院議員の選挙権をあたえる
イ 政府が、議会の承認なしに労働力や物資を動員できる
ウ 共産主義などの、社会のしくみを変えようとする運動を取りしめる
エ 工場で働く人の労働時間を、1日8時間までにする _____
- (5) 近所の10軒ほどの家で作られ、配給や防空訓練を行い、たがいを見張る役目もした組織を何といいますか。 _____
- (6) 配給制のころのくらしとして正しいものを選びなさい。
ア 米や砂糖などを、店で好きなだけ自由に買った
イ 生活必需品の値段が下がり、くらしが楽になった
ウ 米や衣料などを、切符や通帳と引きかえに決められた量だけ受け取った
エ ぜいたくな品の広告が町にあふれ、よく売れた _____
- (7) 朝鮮や台湾で進められた皇民化政策の中身を、「日本語」「神社」の2つの語を使って書きなさい。
- _____
- _____

6 年表で確かめる。【1・12ページ】

- (1) 次のできごとを、古い順に並べなさい。 _____
ア ナチスが政権をにぎる イ ロンドン海軍軍縮条約 ウ 金融恐慌 エ 二・二六事件
- (2) ニューヨークで株価が大暴落した年を選びなさい。
ア 1918年 イ 1923年 ウ 1929年 エ 1937年 _____
- (3) 満州国がつくられた年を選びなさい。
ア 1914年 イ 1932年 ウ 1925年 エ 1940年 _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

世界恐慌と各国の対策（2・3ページ）

1929年10月、アメリカのニューヨークで株価が大暴落→世界恐慌。恐慌＝経済が急に大きく混乱し、会社の倒産や失業者が急が増えること。アメリカ＝1933年からローズベルト大統領がニューディール（公共事業・生産の調整・労働組合の保護）。イギリス・フランス＝ブロック経済（本国と植民地の貿易を強め、ほかの国の商品に高い関税）。ソ連＝スターリンの指導で1928年から五か年計画（計画経済）、世界恐慌の影響をほとんど受けず、スターリンは独裁を行った。各国が自分の国の利益を優先し、国際協調の流れがとだえた。

ファシズムの台頭（4・5ページ）

ファシズム＝民主主義や自由主義を否定し、一つの政党や指導者が言論や思想の自由をうばって国民を強くまとめる独裁的な政治（全体主義）。イタリア＝ムッソリーニのファシスト党が1922年に政権、1935年にエチオピアを侵略（翌年併合）。ドイツ＝ヒトラーのナチスが世界恐慌後の不満を集め1933年に政権をにぎり、ほかの政党の禁止・共産主義者の弾圧・ユダヤ人の迫害、国際連盟脱退・ベルサイユ条約の破棄・軍備の拡張。

昭和恐慌と政党政治（6・7ページ）

金融恐慌（1927年。銀行に人がおしかけ、休業や倒産が相次ぐ）。昭和恐慌（1930年。アメリカ向けの生糸の輸出が減って値段が下がり、米の値段も下がりて農村が苦しくなる。都市では倒

年表（12ページ）

年	できごと	年	できごと
1927年	金融恐慌	1933年	ナチスが政権をにぎる・日本が国際連盟の脱退を通告
1929年	世界恐慌が始まる	1936年	二・二六事件
1930年	ロンドン海軍軍縮条約・昭和恐慌	1937年	日中戦争が始まる
1931年	満州事変	1938年	国家総動員法
1932年	満州国・五・一五事件	1940年	大政翼賛会

合言葉

1929、ニューヨークから世界へ／アメリカは公共事業、英仏はブロック、ソ連は計画／自由をうばって、国を強く／不満を集めて、ヒトラーの独裁／生糸も米も安くなり、村が苦しむ／軍縮に反対、統帥権／柳条湖から満州国、そして連盟脱退／5・15で政党内閣が終わり、2・26で軍部が強まる／盧溝橋から日中戦争、重慶で抵抗／総動員で、くらしも戦争へ

産と失業者、労働争議・小作争議が増える）。政党は財閥と結びつき汚職も起き、国民の不信が高まる。浜口雄幸内閣が1930年にロンドン海軍軍縮条約（統帥権を犯したと批判）。蒋介石の国民政府（1927年、南京）。

満州事変と軍部の台頭（8・9ページ）

関東軍が1931年9月に柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破→満州事変→1932年に満州国（元首は溥儀、実権は日本の軍部）。リットン調査団→1933年に国際連盟が勧告→日本が脱退を通告、孤立。五・一五事件（1932年5月15日。海軍の青年将校が犬養毅首相を暗殺。政党内閣の時代が終わる）。二・二六事件（1936年2月26日。陸軍の青年将校が大臣などを殺傷し、東京の中心部を占拠。軍部の発言力が強まる）。

日中戦争と戦時体制（10・11ページ）

国民党（蒋介石）と共産党（毛沢東）が内戦をやめ、抗日民族統一戦線（1937年）。1937年7月、北京郊外の盧溝橋で衝突（盧溝橋事件）→日中戦争。12月に南京を占領（南京事件）。国民政府は重慶に移って抵抗、アメリカ・イギリスなどが援助、戦争は長引く。1938年国家総動員法（政府が議会の承認なしに労働力や物資を動員）。1940年大政翼賛会。隣組・配給制（切符や通帳）。朝鮮や台湾で皇民化政策（日本語・神社参拝。朝鮮では創氏改名）。

確認問題の答えと解説

1【2・3ページ】

- (1) イ (2) スターリン
(3) ウ (4) エ
(5) 五か年計画 (6) ア
(7) (例) 植民地が少なく、ブロック経済のために、自国の商品を売る先がせまくなったから。

世界恐慌は、1929年10月、アメリカのニューヨークの株式市場で株価が大暴落したことから始まりました。スターリンは、1920年代の終わりから社会主義の国を指導し、反対する人々をきびしくおさえて独裁を行いました。ニューディールを進めたのは、1933年からのローズベルト大統領です。ブロック経済は、本国と植民地の間の貿易を強め、ほかの国の商品に高い関税をかける政策です（ほかの選択肢は、ニューディール〈公共事業〉・国際連盟による軍縮・自由な貿易の説明で、ブロック経済ではありません）。五か年計画は、社会主義の国で国が計画を立てて重工業をおこし、農業を集団化した政策です。世界恐慌の影響をほとんど受けなかったのは、これを進めていたソ連です。記述の採点のめやす：「商品」「植民地」の両方を使って、植民地が少なく商品を売る先がせまくなったことが書けていれば正解。【2・3】

2【3・4・5ページ】

- (1) ファシズム (2) ウ
(3) ア (4) エ
(5) イ
(6) (例) 各国が自分の国の利益を優先して、ブロック経済などの政策をとったから。

ファシズムは、民主主義や自由主義を否定し、一つの政党や指導者が国民を強くまとめる独裁的な政治（全体主義）です。1922年に政権をにぎったのは、ファシスト党のムッソリーニです。ナチスは、ほかの政党を禁止して言論の自由をうばい、共産主義者を取りしめ、ユダヤ人を迫害しました（ほかの政党の活動を広く認めたものではありません）。ナチスが支持を集めたのは、世界恐慌で失業者が増え、ベルサイユ条約への不満が強かったからです。イタリアは1935年にエチオピアを侵略し、翌年に併合しました。記述の採点のめやす：「自分の国」「優先」の両方を使って、各国が自分の国の利益を優先したことが書けていれば正解。【3・4・5】

3【6・7ページ】

- (1) 金融恐慌 (2) ウ
(3) エ (4) イ
(5) 統帥権 (6) 国民政府
(7) (例) 政党が財閥と結びついて汚職も起こし、不景気に有効な手を打てなかったから。

金融恐慌は1927年、銀行に人がおしかけて休業や倒産が相次いだ混乱で、1930年の昭和恐慌とはちがいます。昭和恐慌では、アメリカ向けの生糸の輸出が減って値段が下がり、米などの値段も下がって農村が苦しくなりました。都市では会社の倒産が相次いで失業者が増え、労働争議も増えました（成金や米の安売りを求める騒動は、ほかの時期のことです）。1930年にロンドン海軍軍縮条約を結んだのは、浜口雄幸内閣です。この条約に反対した軍部などは、軍隊を指揮する天皇の権限である統帥権を、政府が犯したと批判しました。蒋介石は1927年に南京で国民政府をつくり、中国の統一を進めました。記述の採点のめやす：「財閥」「不景気」の両方を使って、政党が財閥と結びつき、不景気に有効な手を打てなかったことが書けていれば正解。【6・7】

4【8・9ページ】

- (1) 関東軍 (2) エ
(3) ア (4) ウ
(5) 五・一五事件 (6) イ
(7) (例) 政党の党首が首相になる政党内閣の時代が終わり、軍人などが首相になる内閣が続いた。

満州に置かれていた日本の陸軍が関東軍です。1931年9月、関東軍は奉天の近くの柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し、満州事変を始めました。満州国は1932年につくられ、溥儀が元首になりましたが、実際の政治は日本の軍部がにぎりました。五・一五事件は、1932年5月15日に海軍の青年将校らが犬養毅首相を暗殺した事件です。二・二六事件の後、軍部は政治への発言力をいっそう強めました（普通選挙法は1925年、女性の選挙権は戦後です）。記述の採点のめやす：「政党」「軍人」の両方を使って、政党内閣の時代が終わり、軍人が首相になる内閣が続いたことが書けていれば正解。【8・9】

5【10・11ページ】

(1) 抗日民族統一戦線 (2) エ

(3) ア (4) イ

(5) 隣組 (6) ウ

(7) (例) 日本語の使用や神社への参拝を強制した。

1937年、国民党（蒋介石）と共産党（毛沢東）が内戦をやめ、抗日民族統一戦線をつくりました。国民政府が首都を重慶に移して抵抗を続け、アメリカやイギリスなどが中国を援助したので、戦争は長引きました。国家総動員法は、1938年に、政府が議会の承認なしに戦争に必要な労働力や物資を動員できるようにした法律です（共産主義の取りしまりは治安維持法、選挙権は普通選挙法です）。隣組は10軒ほどの家で作られた組です。配給制では、米や衣料などを切符や通帳と引きかえに、決められた量だけ受け取りました。記述の採点のめやす：「日本語」「神社」の両方を使って、日本語の使用や神社への参拝を強制したことが書けていれば正解。【10・11】

6【1・12ページ】

(1) ウ → イ → ア → エ

(2) ウ (3) イ

金融恐慌（1927年）→ ロンドン海軍軍縮条約（1930年）→ ナチスが政権をにぎる（1933年）→ 二・二六事件（1936年）の順です。ニューヨークで株価が大暴落したのは1929年、満州国がつくられたのは1932年です。【1・12】

7【6・8・12ページ】

(1) ブロック経済 (2) 軍部

(3) (例) 不景気をのりこえるために、資源の豊かな満州を手に入れようと考えたから。

②は、ほかの国の商品に高い関税をかけるブロック経済（3ページ）、⑤は、五・一五事件と二・二六事件で力が強まった軍部（9ページ）です。記述の採点のめやす：「不景気」「資源」の両方を使って、不景気をのりこえるために資源の豊かな満州を手に入れようとしたことが書けていれば正解（6ページの昭和恐慌と、8ページの満州の資源）。【6・8・12】